

山野井たかし後援会だより

No.49

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	渡辺 雅照
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2015年4月1日

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。
市民が安心して暮らせる小山市をめざして、取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

平成27年第1回定例会が、2月18日から3月17日の日程で開催され、平成27年度小山市一般会計および特別会計、企業会計の当初予算が計上された他、各種補正予算、条例の制定、一部改正、指定管理者の指定、人事案件など48議案が上程され、全議案が原案通り可決されました。



市政一般質問する山野井議員

【主な議案】

＜平成27年度小山市一般会計予算、特別会計予算、公営企業会計予算＞ (単位：千円、%)

会 計	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	増減率	
一 般 会 計	59,980,000	59,750,000	230,000	0.4	
特 別 会 計	国民健康保険（事業勘 介 護 保 険	19,592,300	16,886,600	2,705,700	16.0
	後 期 高 齢 者 医 療	1,377,000	1,395,300	△ 18,300	△ 1.3
	病 院 事 業 債 管 理 事 業	2,571,700	999,200	1,572,500	157.4
	墓園やすらぎの森事業	105,000	43,000	62,000	144.2
	与良川水系湛水防除事業	40,000	49,000	△ 9,000	△ 18.4
	農業集落排水処理事業	618,100	639,000	△ 20,900	△ 3.3
	小山第四工業団地造成事	120,000	221,000	△ 101,000	△ 45.7
	公共用地先行取得事業	19,400	116,700	△ 97,300	△ 83.4
	公 共 下 水 道 事 業	5,081,000	4,823,000	258,000	5.3

(単位：千円、%)

会 計	区 分	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	増減率
水道事業	収 益 的 収 入	2,956,472	2,926,201	30,271	1.0
	収 益 的 支 出	2,543,214	2,546,190	△ 2,976	△ 0.1
	資 本 的 収 入	74,056	128,328	△ 54,272	△ 42.3
	資 本 的 支 出	1,029,206	947,319	81,887	8.6

＜小山市敬老祝金条例の一部改正について＞

小山市では、市内に居住する高齢者に対し敬老祝金を支給していますが、超高齢化社会を見据えて、制度を見直すため、小山市敬老祝金条例の一部を改正しました。

年 齢	改正前	改正後
77歳	5,000円	5,000円
88歳	10,000円	10,000円
95歳	50,000円	30,000円
100歳	※300,000円	100,000円
101歳以上	-	20,000円



※養護老人ホーム、特別養護老人ホーム入所者は100,000円
101歳以上の20,000円は、改正前の祝金支給者は対象外

【市政一般質問要旨】

＜スポーツ施設の整備について＞

Q：小山市のスポーツ施設の現状について伺いたい。

A：市立体育館の建設、武道館・弓道場の老朽化、サッカー場・パークゴルフ場をはじめとしたニュースポーツ施設の不足等を課題としている。

Q：新規整備、改修、建て替え、機能強化すべき施設についてどのように考えているか。

A：市立体育館の平成29年度完成、市立武道館の床の補修・畳の入れ替え、サッカー場を『豊田緑地の多目的広場』に、ニュースポーツは『緑の健康づくりの森』に検討を進めている。

Q：小山運動公園野球場について、2022年の栃木国体軟式野球の開催地に小山市が選定された。『スポーツのまち』小山市を全国に発信するため、スコアボードの電光化をお願いしたい。

A：多額の費用が掛かることからスポーツ振興くじの助成制度の活用を検討したが、難しいということから、やむを得ず断念したという経緯がある。

しかし、2022年栃木国体の軟式野球の会場に選定されたことから、平成27年度に改定を予定しているスポーツ施設整備計画の中で再度検討していきたい。

Q：『スポーツ施設整備計画』を早急に策定すべきである。具体的な策定期間について聞きたい。

A：新年度に実施を予定している市民意識調査や市議会議員を含めた有識者による会議等で十分に検討し、平成27年度に原稿計画の改定のための作業を進めていく。

Q：小山市体育協会は、小山市スポーツのけん引役である。小山市体育協会にスポーツ施設の管理を委託できないか、伺いたい。

A：現在の体育協会の人的・財政的な面を考えると、すぐに委託するのは困難である。体育協会を含めて民間等への委託のあり方について調査研究していきたい。

＜地上デジタル放送について＞

Q：テレビ小山の『デジアナ変換』によるアナログ放送でテレビ視聴困難世帯はないのか。□

A：テレビ小山ではケーブルを通してデジタルとアナログも同時に流しているため、3月30日で視聴できなくなる世帯数は把握できない。

Q：アナログ放送に備えて、小山市が市民に向けてどのような周知を行ってきたのか。□

A：デジアナ変換による視聴世帯には画面上のテロップで常時流している他、回覧板・広報誌、小山市ホームページにも掲載し、デジアナ変換終了のお知らせを徹底している。

Q：生活困窮世帯など視聴困難世帯に対してどのような支援を考えているのか

A：視聴困難世帯には総務省よりチューナーが6月30日までの申込者に無償給付されることから、テレビ小山及び関係各課と協議して相談窓口を開設する。

＜交通安全について＞

Q：通学路の一斉点検の結果、実施した対策、それ以降の取組み、今後実施していく施策について。

A：106箇所の対策必要箇所のうち、82箇所にグリーンベルト、カラー舗装、路面表示、看板設置、交通指導員配置、信号機設置などの対策が完了、7箇所が継続中である。また、今年6月に通学路の安全向上を目的に『小山市通学路交通安全プログラム』を策定した。今年度は、12小学校から改善依頼が提出され、25箇所を対策必要箇所として抽出、道路管理者からの歩道整備等の計画箇所22箇所を含め、計47箇所の対策を進めている。今後も『安全推進会議』を定期的に開催し、安全確保を図っていく。

Q：城東地区の通学路、通勤路となっている市道2327号線の狭隘な歩道拡幅の計画を伺いたい。

A：歩道を1.5メートルから2.5メートルに拡幅するために、現地調査測量および詳細設計費を平成27年度予算に計上している。

Q：八幡町第二歩道橋の交差点は、神明町公民館で行っている『いきいきふれあいセンターしんめい』に通う高齢者が渡ってくる。高齢者は歩道橋を渡れず、横断歩道のない交差点を渡っている。□横断歩道・歩行者用信号を設置するように県に要望できないか。

A：横断歩道及び歩行者用信号の設置についての判断は、栃木県公安委員会となるので、市としては、自治会の要望をいただき、地域住民の利便性向上のため小山警察署に設置要望を行っていく。

